



れんけい

題字：松尾信彦書

高度型がん診療連携拠点病院の指定を受けました。

がん診療委員長 川上 公宏

日本全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、402箇所のがん診療連携拠点病院が指定されています。この体制強化のために、51箇所の都道府県がん診療連携拠点病院の他に、二次医療圏に1つまで認められるがん診療連携拠点病院（高度型）が指定されています。この「高度型」に今年度は、全国47箇所の病院が指定を受け、その内の一つとして当院も指定されました。今回の指定は専門的ながん医療の提供実績に加えて、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供、がんゲノム医療提供や遺伝性がん診療の構築、および質の高い緩和医療体制が評価されたものと考えます。

今回の指定をうけ、以下の2点を当面の重点課題として取り組んでいく事としております。

- ① 香川県民のため、他施設と協力した医療連携の更なる充実。
- ② 香川県に地域格差のない高度ながん医療の提供。

現在世界に蔓延している SARS-CoV-2 ウイルスは、症状が出る前の感染者が感染を拡大させるという医療機関にとっては厄介な特徴があります。このため現在は対面での医療連携の充実を図る事は控えおりますが、WEB会議の導入等で状況が開かれれば推進していく予定です。

高度ながん医療提供に関しましては、当院は感染症指定医療機関であり、院内感染予防策には十分な注意を払って診療しております。それにより、がん診療の量と質を維持しており、更なる進歩をめざし努力も継続できております。例えば、がんゲノム診療に関して保険適応のある遺伝子パネルはすべて利用可能で、血液検査から行えるものも含めた自費診療パネル検査も使用可能な状態です。更には、網羅する遺伝子数が多い先進医療パネルについても共同研究施設として準備中です。

写真はがん診療委員会メンバー（全員マスク着用）の集合写真です。3密を避けながら委員会は継続しております。



information

三叉神経痛：あたまから来る顔や歯の激痛

脳神経外科 診療科長 市川 智継

脳神経外科で外科的治療を行う疾患といえば、脳卒中、脳腫瘍、外傷など生命に関わるものが多いのですが、生命に関わらなくとも痛みや不随意運動などの神経症状のために生活の質を著しく障害している疾患も脳神経外科で扱います。

■顔や歯の激しい痛み：それは三叉神経痛かも

顔や歯に痛みを感じたら、まずその場所を扱う診療科を受診されるでしょう。ところが診察と検査の結果、痛む場所の原因が特定できない場合があります。それは、神経系に原因がある「三叉神経痛」かもしれません。まれな病気ですが、脳神経外科で治療を行います。

この病気は、他覚的神経症状や特徴的画像所見がありませんので、患者さんから聴取する特徴的な症状で診断します。痛み症状には表のような特徴があります。

三叉神経痛の特徴

1. 顔面の表面を刺すような、あるいは電気が走るような、するどく激しい痛み
2. 発作的で、一瞬(数分の1秒)の痛み
3. 痛み発作のないときは全く無症状で、その他の脳神経症状を伴わない
4. きっかけになる動作(トリガー)がある：食事、歯磨き、髭剃り、化粧、洗顔、など
5. それぞれの患者さんごとに定型化した症状：同じ症状のくりかえし、一定の部位、決まったトリガー

■原因

原因の多くは、顔や歯の知覚を司る三叉神経に自分自身の動脈が接触しているためです。動脈の拍動が三叉神経を刺激し続けると、神経を被覆している髄鞘細胞がやせ衰えます。そこへ軽い知覚刺激(トリガー)の信号が伝わってくると、神経線維の脱分極が隣の痛覚神経に乗り移り、激痛の信号となって大脳に伝えられます。まれに、脳腫瘍が三叉神経に接触していることがあり、その場合はその他の脳神経症状を伴うことがあります。

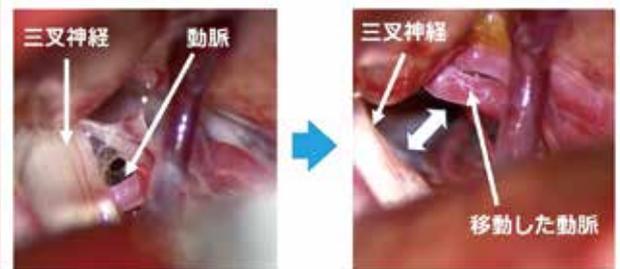


■治療について

脳腫瘍が原因である場合は、もちろん腫瘍を摘出すれば痛みは消失します。血管が神経を圧迫している場合は、治療法はいくつかありますが、痛みがどの程度生活に影響しているかを考慮して、患者さんと相談しながら最適の治療法を選択します。

- ①薬物療法：治療の第一歩は内服薬による鎮痛です。非ステロイド鎮痛剤は無効で、カルバマゼピンが著効します。ただし副作用として、眠気、ふらつき、アレルギー等がありますので注意が必要です。
- ②神経ブロック療法：三叉神経の末梢枝もしくはガッセル神経節に、局所麻酔薬やアルコールの注射、加熱凝固などを行い、三叉神経を麻痺させて痛みを抑えます。ただし、治療後に知覚鈍麻やしびれ感を残したり、ブロック点が新たな痛みの原因になることがあります。
- ③手術「微小血管減圧術」：薬物療法やブロック療法は、痛みの原因に対する根本的な治療法ではないので、効果には個人差があり、やがて効かなくなります。根本的な治療法は、開頭術により原因となっている動脈の三叉神経への接触を解除することです。もちろん開頭術には身体的な負担を伴いますので、いきなり手術をおすすめすることはありませんが、治療経過をみて、どうしても痛みがコントロールできず生活に支障をきたすようであれば手術を提案します。

全身麻酔下に耳介後方で開頭し、錐体骨と小脳半球の間から顕微鏡で奥を覗き、三叉神経に接触している動脈を外して移動させ、二度と神経に接触しないように接着固定します。たったこれだけの操作で術後たちまち痛みが消失します。一般的な手術成績は80～90%の有効率ですが、当科の手術成績は90%以上です。その理由は、正しい診断のもとに、移動した血管がはずれにくい独自の接着固定方法を用いているからです。



■担当医

もし、顔や歯の痛みで苦しんでいる患者さんがいらっしゃいましたら、三叉神経痛の診療経験の豊富な脳外科医が最適の治療法を提供しますのでご相談ください。

市川智継 (月・水・金)、藏本智士 (水)

NEWS

退院支援専任看護師を配置しました

地域医療連携課 看護師長 大谷 宏実

地域連携室では、当院での急性期治療を終えた患者さんが、病気や障害を抱えながらも退院して、家庭や地域の病院・施設などの療養の場で、安心して自立したその人らしい療養生活を送ることができるように、地域の保険医療機関や福祉施設と連携して支援させて頂いています。

この度私たちは、入院早期から患者さん一人ひとりの病室に伺い、これまで以上に患者さんやご家族に寄り添い、退院に関する不安やお困り事、患者さんやご家族の意向を理解したいと考えました。その上で、より患者さんやご家族の意向に近い在宅療養支援や転院支援に繋げるため、令和2年3月から『退院支援専任看護師』を配置しました。この退院支援専任看護師と、医療管理・介護上の問題を理解した主治医や病棟看護師、生活上の問題を理解した医療ソーシャルワーカーや地域連携の相談員をはじめとする多職種がチームとなり、患者さん一人ひとりについて話し合う機会を設けさせて頂いています。この話し合いをもとに、転院・在宅療養の方向づけや社会資源の調整・支援に繋げようと努めています。このような支援をさせて頂くことで、当院から退院される患者さんやご家族が少しでも安心して地域での生活に復帰していただけるよう今後もスタッフ一同が一丸となって支援・調整させて頂きます。

さらに今後、入院が決定した時から、入院することによる不安やお困り事を支援させて頂けるように体制を整え、今年度末頃に患者サポートセンターを開設させて頂きたく予定です。



NEWS

がん化学療法について、地域医療機関との連携充実を図ります！

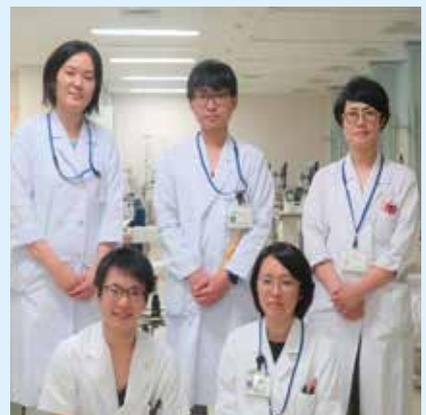
薬剤部 中山 順子

2020年4月から、外来で抗がん剤の注射薬を投与される患者さんを対象に、「がん化学療法治療の記録」（レジメンの実施状況、副作用の発現状況、医学・薬学的管理上必要な事項等を記載）の交付を開始しました。この記録は薬剤師が患者さんと面談して作成しており、患者さんには保険医療機関・保険薬局の医師や薬剤師に提示するように説明しています。

患者さんより提示された「がん化学療法治療の記録」は、抗がん剤の治療歴の把握や服薬指導、副作用のフォローアップ等にご活用いただき、当院へのフィードバックにも繋げていただければ幸いです。

運用しているレジメンについては、当院のホームページに掲載しておりますので、是非、ご覧ください。レジメンに関するお問い合わせやフィードバックいただいた情報については、がん薬物治療を専門とする薬剤師が窓口となり対応致しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

今後、がん薬物治療に関する研修会等を計画しております。連携体制の強化を通じて、患者さんがより安心して治療を受けることができる環境を作っていきたいと思っております。



外来がん化学療法担当薬剤師

がんの痛みとオピオイド鎮痛薬

緩和ケア内科 診療科長 仁熊 敬枝

私事になりますが、「緩和ケア」という言葉に出会ったのは20年ぐらい前ですが、「がんの痛み」とのつきあいは、医者になった三十数年前に遡ります。はじめてペインクリニックで担当したのは多発性骨髄腫の女性で、強い痛みがあったのですが、当時はオピオイド鎮痛薬の徐放錠もなく、痛みの治療にはずいぶん難渋しました。1989年にモルヒネの徐放錠が使えるようになりましたが、使い方が未熟だったこともあり十分ながんの痛み治療ができていたとは言い難い状況でした。がんが骨盤が巻き込まれた激痛を訴える患者さんに対して、脊髄に薬剤を投与し永久的に下半身の知覚を無くしてしまう、というような治療もしたことがあります。その後2002年にはフェンタニル貼付剤、2003年にはオキシコドン徐放錠が発売され、段々とオピオイドの剤型や種類が充実し使い方も工夫されて、がんの痛みの治療は格段に幅が広がりました。



数年前、以前勤務していた病院での患者様です。すい臓がんで自宅でお亡くなりになる2日前、奥様と笑顔のツーショット。訪問看護師さんが撮影。いつもこのようにはいきませんが・・・
(奥様の許可はもらっています。)

現在では、がんの痛みに使えるオピオイドは上記以外にトラマドール、タベンタドール、ヒドロモルフォン、メサドンも加わり、合計7種類もあって、患者さんの病態に合わせたオーダーメイドの処方が可能です。癌と診断されてからの余命が長くなっている現在、これらの薬を上手に使うことで苦痛を減らし、病はあっても豊かな生活を送っていただけることを願って治療を行っています。

コラム お通じにまつわるうんちく話(その13)

消化器内科 部長 田中 盛富

「日本語の美しさ」を題材にした書籍はたくさんあります。すべてを確認したわけではないので、これは推測ですが「味噌も糞(くそ)もいっしょにする」、「味噌糞(みそくそ)に言う」などの日本語は「美しい日本語」には挙げられてはいないでしょう。この「味噌糞」は、よいものも悪いものも同一に扱うこと、無茶苦茶なことを表します。色調とペースト状の形態という両者の外見の特徴から生まれた表現でしょうが、味噌と糞(以下うんち)は、その生成に微生物による発酵が必要という点でも類似性があります。

味噌は、大豆、米、麦などを、麴(こうじ)といわれる微生物の力で発酵させることにより作られます。原料や微生物または環境の違いにより、様々な種類の味噌が製造されています。この発酵の過程で生成される豊富な栄養が病気を遠ざけることから「味噌の医者殺し」の言葉もあるほどです。一方、うんちも食物繊維などを原料に腸内細菌が発酵を行うことで形成され、その過程で様々な有用な物質が生成されます。うんちの形成は、味噌づくりに通じるものがあります。よい味噌には、よい材料とよい麴。よいうんちには、よい食べ物とよい腸内細菌。

ちなみに、味噌の色調はメイラード反応というたんぱく質と糖の反応によるものであり、本物のうんちの色調は胆汁の色素が由来なので、妙な想像は無用です。

というわけで、味噌とうんちは外見も中身も似通ったところがあり、「味噌糞」という表現は「美しさ」とは趣を異にしますが、なかなか味わい深い言葉です。次回もうんちと腸内環境にまつわるお話の予定です。



医師の人事異動 4月1日付転入

①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



やまうち けんじ
山内 健司 (消化器内科)

- ①岡山大学 ②平成20年
- ③ゴルフ
- ④消化管の内視鏡診断・治療を中心に、消化器診療全般において地元高松の医療に貢献できるように努力して参ります。



ふかだ ゆうじ
深田 悠史 (消化器内科)

- ①川崎医科大学
- ②平成24年
- ③スポーツ観戦・ジム通い
- ④宜しく願います。



きのした つばさ
木下 翼 (消化器内科)

- ①自治医科大学
- ②平成26年
- ③ドライブ
- ④香川県の医療に少しでも貢献できるように、努力していきます。



こもり ゆうた
小森 雄太 (呼吸器内科)

- ①香川大学
- ②平成29年
- ③ドライブ
- ④患者さんに寄りそう丁寧な医療を心がけます。

■ 医師の人事異動 4月1日付転入

①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



おくまき 奥真紀 (血液内科)

- ①香川大学
- ②平成22年
- ③読書
- ④日々精進していく所存です。よろしく願い致します。



おざきまさとも 尾崎正知 (循環器内科)

- ①香川大学 ②平成20年
- ③スポーツ観戦・芝生の育生
- ④香川の不整脈診療(カテーテルアブレーションやデバイス治療)、失神診療に尽力させていただきます所存です。



せいやまこうすけ 清山浩介 (循環器内科)

- ①愛媛大学
- ②平成22年
- ③旅行
- ④香川県の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしく願い致します。



うめだまさし 梅田将志 (呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②平成30年
- ③映画鑑賞
- ④地域の皆様のお役に立てるよう尽力致します。宜しくお願い致します。



かわだけんじ 河田健吾 (乳腺・内分泌外科)

- ①川崎医科大学
- ②平成22年
- ③最新論文のチェック・レコード集め
- ④何でも気軽に質問でき、それに対して最新の情報を、わかりやすく伝えられるよう努力致します。



ひらたゆういち 平田雄一 (脳神経外科)

- ①岡山大学
- ②平成30年
- ③テニス
- ④精一杯努めさせていただきます。よろしく願い致します。



いわたまこうへい 岩本康平 (救命救急センター)

- ①自治医科大学
- ②平成23年
- ③テニス
- ④救急診療の力になれるよう頑張っており参ります。



はやしゆうこ 林優子 (形成外科)

- ①岡山大学
- ②平成26年
- ③パン作り
- ④地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいります。よろしく願いいたします。



のぐちゆうた 野口裕太 (小児科)

- ①香川大学
- ②平成28年
- ③ジム通い
- ④香川県の小児科医療に貢献できるように精一杯がんばります。



いのうえしょうた 井上翔太 (泌尿器科)

- ①岡山大学
- ②平成30年
- ③4輪レース観戦・ランニング
- ④姫路から参りました。泌尿器科医としてはまだまだ未熟ですが、関西人らしく明るく頑張ります。



あきみつじゅんいちろう 秋光純一郎 (眼科)

- ①香川大学
- ②平成28年
- ③ランニング
- ④皆様のお役に立てるよう頑張ります。



しばたあかね 柴田茜 (歯科・口腔外科)

- ①朝日大学
- ②平成21年
- ③食べること・華道
- ④地域の皆様のお役に立てるよう、精いっぱい頑張ります。よろしく願いいたします。



はせがわかずあき 長谷川利聡 (歯科・口腔外科)

- ①岡山大学
- ②平成27年
- ③テニス・スノーボード
- ④香川県職員として地域に貢献できるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ふじいあやか 藤井彩加 (麻酔科)

- ①山口大学
- ②平成29年
- ③テニス
- ④一生懸命がんばりますので、よろしく願いします。



かたやまのりひさ 片山敬久 (放射線科)

- ①岡山大学 ②平成12年
- ③短い距離のマラソン・欧州サッカー観戦
- ④放射線治療を専門としています。当院の高精度治療装置を用いて、より高度な診療の提供を目指していきます。



いけぞええりか 池添慧梨香 (研修医)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③うどんめぐり
- ④初心を忘れず頑張っていきます。

■ 医師の人事異動 4月1日付転入 ①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



いしはま さわこ
石濱 佐和子 (研修医)
①香川大学
②令和2年
③テニス
④一生懸命頑張ります！



いの はな
伊野 波南 (研修医)
①香川大学
②令和2年
③映画鑑賞
④一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



おおやま らも
大山 楽萌 (研修医)
①自治医科大学
②令和2年
③バレーボール
④学びの姿勢を持ち続け、日々精進し、精一杯仕事に励みます。



さわだ
澤田 ひかり (研修医)
①島根大学
②令和2年
③音楽鑑賞
④日々精一杯がんばります。ご指導のほどよろしくお願ひ致します。



しばた ゆきほ
柴田 幸穂 (研修医)
①香川大学
②令和2年
③音楽鑑賞
④精一杯頑張ります！



ただら のぞみ
多田 羅望 (研修医)
①愛媛大学 ②令和2年
③お菓子作り、美味しい物を探すこと
④初期研修の2年間で、振り返った時に胸をはって「努力した・成長した」と言えるように、日々、知識・技術・態度を磨いていきたいです。



なかにし けんたろう
中西 健太郎 (研修医)
①香川大学
②令和2年
③運動
④分からないことが多いですが、精一杯がんばります。よろしくお願ひします。



のむら あや
野村 綾 (研修医)
①自治医科大学
②令和2年
③剣道・マラソン
④一人前の医師として香川県の医療に貢献できるよう、日々の学びを大切にしていきたいと思ひます。



はせがわ あなこ
長谷川 愛子 (研修医)
①香川大学 ②令和2年
③和太鼓
④知識や技術を取得し、患者さんの心と身体に寄り添うことのできる医師になれるよう精進したいと思ひます。



ふじもと りょう
藤本 遼 (研修医)
①岡山大学 ②令和2年
③バドミントン・テニス・筋トレ
④医師として力がなく、まだまだ駆け出しですが、皆さんのお役に立てるよう尽力いたします。



ますだ りき
増田 吏紗 (研修医)
①自治医科大学
②令和2年
③音楽鑑賞・旅行
④不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけするかと思ひますが、一生懸命頑張ります。



もり しゅんすけ
森 俊介 (研修医)
①愛媛大学
②令和2年
③スポーツ観戦・将棋
④地道に努力していこうと思ひます。よろしくお願ひ致します。



もりわき ゆうと
森脇 悠利 (研修医)
①香川大学
②令和2年
③楽器 (エレキベース)
④少しでも早く病院の力として働けるように努力していきます。



まつやま
松山 たまも (研修医 (歯科))
①広島大学 ②令和2年
③DVD鑑賞
④香川県立中央病院で研修させていただき1年間で、めいばい成長できるよう精進します。よろしくお願ひします。



新型コロナ感染症に思うところ

～「マスクおじさん」と呼ばれてもマスクは大事です～

副院長 稲葉 知己

新型コロナ感染症に振り回され、心から晴れ晴れとした日がないのが大変残念です。医療界がこれほど厳しい状況になったのは近年ないことです。当院は、香川県内唯一の第1種感染症指定医療機関であり、新型コロナ感染症においても県民の方々の期待は大きく、重症者に対応する最後の砦としての役割を担っております。一方で、救急医療や高度先進医療の提供も当院に課せられた使命であり、新型コロナへの対応に終始するわけにはいきません。

救急医療においては、新型コロナ感染症の拡大状況により、自作の COVID スコアを用いたスクリーニングを開始し、救急医の感染防御の態勢を整備しながら、現時点ではどのような救急疾患にも対応できる体制に戻しました。

高度先進医療については、癌の治療など延期が困難な治療は行ってきましたが、かなりの制限をしてきました。この間、ご迷惑をおかけした患者さん、医療機関の方々にお詫び申し上げます。外科手術においても、患者さんと医療従事者の感染防御態勢も整備し、各種治療も再開する準備が整いました。

第一種感染症病床を有する病院として、院内の感染対策は厳しく行っております。出勤時のマスク着用のチェックより始まり、院内で職員がマスクを外すのは食事と休憩のみで、その際の会話は禁止しております。その他、多くの対策にて、院内は外部より感染リスクは圧倒的に低い状態であると自負しております。

私が厳しく指示しておりますので、「**軍隊みたい**」とか「**マスクおじさん**」との噂もあるようですが、私には直接届いておりません。当院は重症患者さんが多く、外部からの持ち込みの感染を防ぐことが極めて大切であり、患者さんをご紹介いただく際には、当院受診時のマスクの着用をご指導ください。

高い管理体制下で、高度先進医療の再出発と考えております。早く、やさしい副院長先生と呼ばれる日が来ることを切に願っております。



出勤時マスク着用チェック 職員 100%実践中



職員食堂 院長と筆者 会話なし